

## 【11】

氏名	浜 崎 充 彦
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	甲 第 177 号
学 位 授 与 の 日 付	昭和41年 3 月31日
学 位 授 与 の 要 件	医学研究科病理系微生物学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学 位 論 文 題 目	長期培養されたエールリッヒ腹水癌細胞 (JTC-11) の性 状について オ 1 編標準株 (K株) の性状について オ 2 編標準株 (K株) の適性培地及び動物復元継代 K 株の 培養順応性 (株性) の性状について オ 3 編無蛋白地内継代亜株 P 6 の樹立
論 文 審 査 委 員	教授 村 上 栄 教授 小 川 勝 士 教授 田 中 早 苗

## 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

長期培養されたJTC-11 (K株) 細胞を組織培養学的に検討した結果, 研究材料としての優秀性が判明した (第一報)。又その復元細胞は動物通過によっても株性を長く保持する (第二報)。更に本株細胞を微量PVP含有無蛋白培地に馴化し, 増殖継代可能な亜株を樹立し, その亜株は癌性を保持している事を確認した (第三報)。

第一報: 岡山医学会雑誌 第76巻1, 2, 3合併号 (昭和39年 3 月)

第二報: 岡山医学会雑誌 第76巻4, 5, 6合併号 (昭和39年 6 月)

第三報: 細胞核病理学雑誌 第 9 巻 1 号 (昭和39年12月) に掲載

## 論文審査の結果の要旨

浜崎充彦提出の「長期培養されたエールリッヒ腹水癌細胞（JTC-11）の性状について」に関する学位論文につき審査した結果の要旨は次の通りである。

著者は1960年に佐藤によって株化され3年以上試験管内で継代して来たエールリッヒ腹水癌細胞（K株）を用いて、培養性状、復元性、培養順応性（株性）及び無蛋白培地による培養等に就て研究を行い次の結果を得た。

K株は、少数の培養細胞によっても増殖可能（培養液は80%YLE+20%牛血清）であり、その増殖率は最高8日間で2000倍にも達し動物への復元実験に於て $1.6 \times 10^4$ 細胞数以上で100%発癌死亡する。又復元株細胞は動物継代を続け、280日経過しても明に培養順応性を存している。又無蛋白培地を用いてK株細胞の株化に成功し、適性培地（PVP0.05%, Lactalbumin hgdrolysatc0.5%Yeast extract 0.1%, glucose0.45% YLE液）を決定している。

以上の通り本論文は新しい知見に富み、学術上有益であり、著者は医学博士の学位を授与せられるべき学力を有すると認める。